

04月度 例会 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 渡辺勝利 SL; 塚本英吾 他 23名
個人		報告日	04/10		
山域	奥三河	山行日	07年 04月 08日(日)		
山名	夏焼城ヶ山				

山行目的	OB会春のイベント(春山探索)	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-----------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

至根羽
R153
野入川
旧飯田街道
至稲武市街
R257
城ヶ山 889.1m
救護車待機

2.5万分の1地図: 根羽

04/08 快晴	(根羽 池の平に移動)
07:00 テッソ-正門発	
08:30 稲武道の駅 45	13:15 石井ヒュッテ着
(車に分乗し移動)	敷地内の植物観察会
09:00 夏焼ルート登山口発	15:00 解散
09:50 頂上	
10:15	
10:45 水芭蕉群生地	
11:00 井の入ルート登山口	
11:25 旧飯田街道 35 入口(野入)	
12:30 夏焼ルート登山口着	

山行報告 刈谷集合組と現地直行組とも定刻に稲武道の駅に集合。昨夜の低気圧による雨もからりと晴れ上がり、今日は登山日和となりそうである。油井先輩持参のイチゴを頂き、簡単なミーティングをした後、夏焼ルート登山口まで移動する。喫茶「かりん」前のR153沿いの車止めには10台程度は楽に駐車できるスペースがありここに車を止める。登山準備を整え、塚本先輩をトップに猪避けの木戸を開き、登山開始となる。7歳の小学2年生から79歳までの幅広いメンバー構成で、賑やかに「わいわいがやがや」と会話を楽しみながら「水場」と「物見岩」を過ぎ、あっという間に頂上に着いてしまった。頂上からは御岳や北アルプスを望むことができるはずであるが、生憎春霞がかかりわずかに近くの大川入山が眺望できただけなのが残念であった。頂上でしばらく寛いだ後、記念写真を取り井の入ルートを下山開始。念のために安全を期して藤田、井出が降り口に15mの固定ロープをセットした箇所も心配した程のことはなく難なく通過し、ぶなの木峠直下で、池の平へ物資輸送した後、登山口に救護車をデポし井の入ルートを登ってきた石井、渡辺と合流。ここからわずかに下った水芭蕉群生地で大休止を取る。囲みの中には既に数輪の水芭蕉が咲いており、もう少し経って、さらに咲きそう頃になればときっと大勢の人で賑やかになることだろう。ここまでくれば井の入ルート登山口の林道までは指呼の間であり、すぐに降り立つことができた。野入川沿いの舗装された林道をぶらぶらとR

153 出合いまで歩き、ここから旧飯田街道に入る。と言っても山道に近く、路傍の馬頭観音の石碑にわずかに昔の面影が残る草道を小一時間掛けて出発点に戻り、全員無事に「夏焼城ヶ山周遊の山歩き」を終えた。その後は根羽村池の平の石井ヒュッテに移動し、猪肉入りの美味しい豚汁? やおでんに舌鼓を打ち、石井講師による敷地内の植物鑑賞、電気のない山での生活のあれこれのレクチャーを受け、盛会裏に終了した。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



石井ヒュッテで全員集合

確認 (リーダー)

渡辺勝利 (報告者) 07/04/10

リーダー所見 (記録; 藤田健治、渡辺勝利 合作)
第2回OB会主催行事として、子供から年寄りまでが安心して歩ける近場のコースとして設定したが、天候に恵まれて芽吹き前の春山を満喫することのできた山行だった。又、「低山彷徨」の良さを感じると共に底知れぬOBパワーの一面も垣間見ることができ、「山屋に定年なし」をあらためて感じることもできた山行でもあった。